

授業科目 老年看護学実習Ⅱ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
袖山 悦子 他		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【概要・一般目標：G10】 高齢者に特有の健康問題を査定し、健康を維持・回復・増進し、QOLの向上を図る看護ができるための基礎的能力を養う。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 高齢者個人によって加齢過程は異なり、健康状態も個別的で多様であることを理解する。 2. 高齢者の健康状態および生活障害・潜在能力を理解し、必要な看護を科学的に実施する。 3. 高齢者と家族の関係、および高齢者を介護するために家族が必要としている支援について理解する。 4. 高齢者と家族を取り巻くケアシステムを把握し、その中での看護の役割と機能について理解する。 5. “人生の先輩としての個人”を尊重する態度、豊かな老年観と専門職としての倫理観を発展させる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 2 3 4 5	1. 学内オリエンテーション 2. 施設オリエンテーション 3. 実習（2週間） 1)受け持ち患者を持ち実習を行う 2)患者の健康障害をアセスメントし計画立案をする 3)看護援助を実践する 4)実収記録整理する 5)PBC 6)一連の援助の評価 4. 実習のまとめ 5. 福祉施設実習（2週間） 1)老人保健施設 2)特別養護老人ホーム 福祉施設実習は各グループから2-3人編成で実習とする			1～5	実習グループを編成し高齢者保健施設 または高齢者福祉施設で実習を行う 老年看護学教員全員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		老年看護技術 ―アセスメントのポイントとその根拠―	奥野茂代、大西和子 編集	ヌーベル ヒロカワ	2,100円＋税
参考書		老年看護学 ―概論と看護の実践―	奥野茂代、大西和子 編集	ヌーベル ヒロカワ	3,900円＋税
その他の資料		老年看護学実習要項			
【評価方法】 出席状況20% 実習目標・内容到達状況60% 記録類20%			【履修上の留意点】		